

「第4回東京湾海の環境再生賞」受賞者及び受賞式について

「東京湾海の環境再生賞」は、東京湾の環境の保全・再生・改善等に関する活動において顕著な実績を有し、東京湾の環境に係る普及啓発、地域社会の活性化、青少年の育成等に貢献する団体等の功績を称えることで、我が国の経済・文化の中心である首都圏都市の貴重な水辺空間がより豊かに次世代に引き継がれることを目的として平成29年（2017年）に一般財団法人みなと総合研究財団により創設された賞で、国土交通大臣賞及び一般財団法人みなと総合研究財団理事長賞があります。

■受賞式

受賞式は、コロナ感染防止の観点から、事前収録を行い、2021年10月16日（土）に横浜で開催されたオンライン東京湾大感謝祭で紹介されました。

■国土交通大臣賞 「該当なし」

■みなと総合研究財団理事長賞（2団体）

- ・「東洋建設株式会社」
アマモ場再生を通じて、多様なNPO団体と協力しながら、ブルーカーボンの啓蒙普及に尽力され、東京湾の環境保全に寄与したことが認められました。
- ・「横浜市漁業協同組合」
横浜港地先で長年藻場の保全活動に取り組み、この活動により創出されたCO₂吸収量について、第三者委員会による認証を経て、令和2年度に試行されたブルーカーボン・オフセット制度により企業とのクレジット取引が行われ、今後の制度構築に向けて先導的な取り組みが認められました。



受賞者の記念撮影

過去の東京湾海の環境再生賞 受賞者

○第1回東京湾海の環境再生賞 受賞者

■国土交通大臣賞 「セブン・イレブン記念財団」

美しく、貴重な自然を次世代に残すために、さまざまな団体と環境パートナーシップ協定を結び、地域に根ざした社会貢献活動を通じて東京湾の環境の保全・再生・改善に対して大きな貢献があったと認められました。

■みなと総合研究財団理事長賞 「よこすか海の市民会議」

一般市民が海に触れる機会を作り、アマモ場、岩礁域の海の観察会を通して海の楽しみを知ってもらいながら、若い世代に浅い海域の重要性を教え続けていることが認められました。



○第2回東京湾海の環境再生賞 受賞者

■国土交通大臣賞 「ハマの海を想う会」

子供たちを交えた環境美化活動や生物観察を通じて東京湾の環境の保全や再生に関して貢献があったものと認められました。

■みなと総合研究財団理事長賞 「マルハニチロ株式会社」

アマモ場再生を通じて、多様なNPO団体と協力しながら、ブルーカーボンの啓蒙普及に尽力され、東京湾の環境保全に寄与したことが認められました。

■みなと総合研究財団理事長賞 「たてやま海辺の鑑定団」

沖ノ島周辺という限られたエリアでの活動であるが、アマモ場再生を中心とした地元での精力的な活動は、官民様々な団体を巻き込んだ仕掛けづくりと相まって、特筆すべきものとして認められました。



○第3回東京湾海の環境再生賞 受賞者

■国土交通大臣賞 「ザ! 鉄腕! DASH!!」企画コーナー 「DASH海岸」

テレビ番組の企画「DASH海岸」の制作を通じて、海の自然再生実証施設を設置し、豊かな海辺の再生を推進したことが認められました。

■みなと総合研究財団理事長賞 「東京ガス株式会社」

東京湾環境調査への参画とアマモ場再生を通じた環境啓蒙活動の実施を行ったことが認められました。

